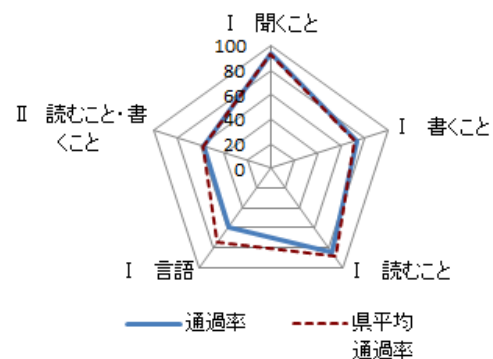
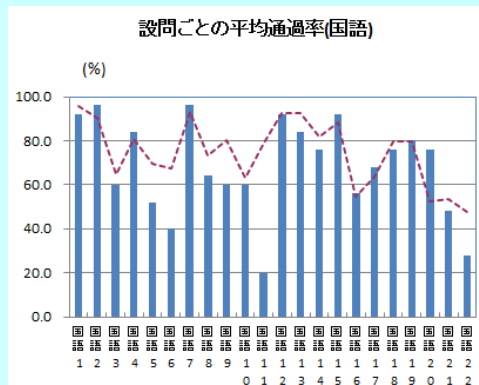


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校68.2%, 県74.7%)

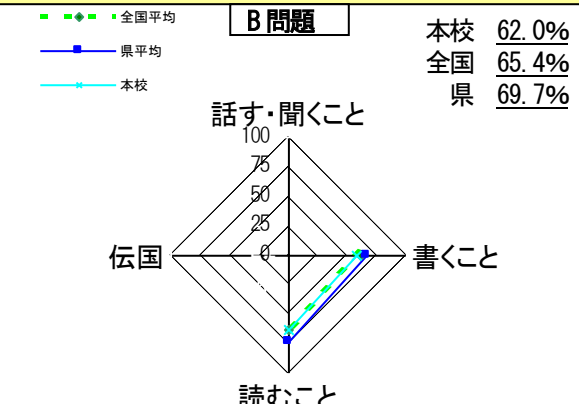
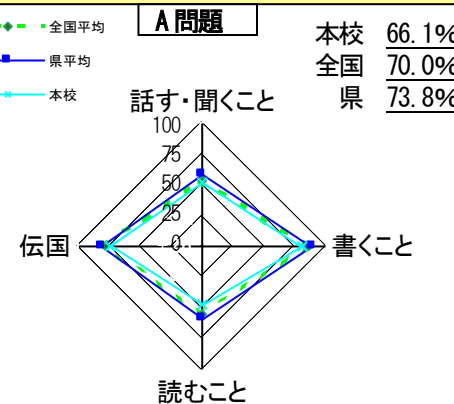
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 主語・述語の関係を答える問題において、述語に対する主語がどれになるのか文の中から考えることに課題がある。
(通過率20.0%)
- ◇ 筆者が引用した言葉がコラムのどこにあたるのか捉えることができず、筆者が伝えたいことをわかりやすく伝えるために、表現の仕方を工夫していることに気づくことができない児童が多くいた。
また、「引用」ということに対する理解にも課題がある。
(通過率6.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

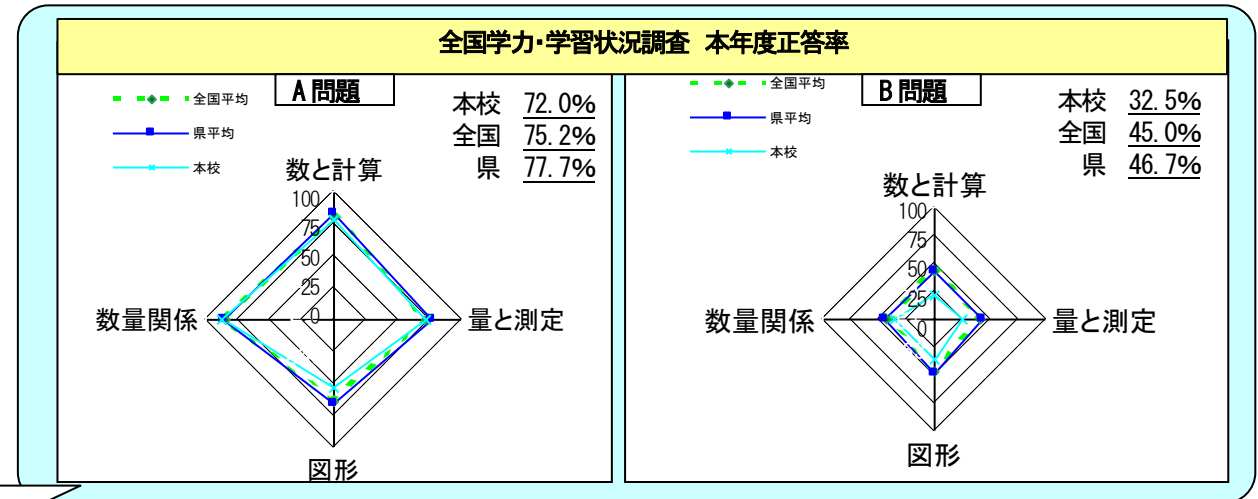
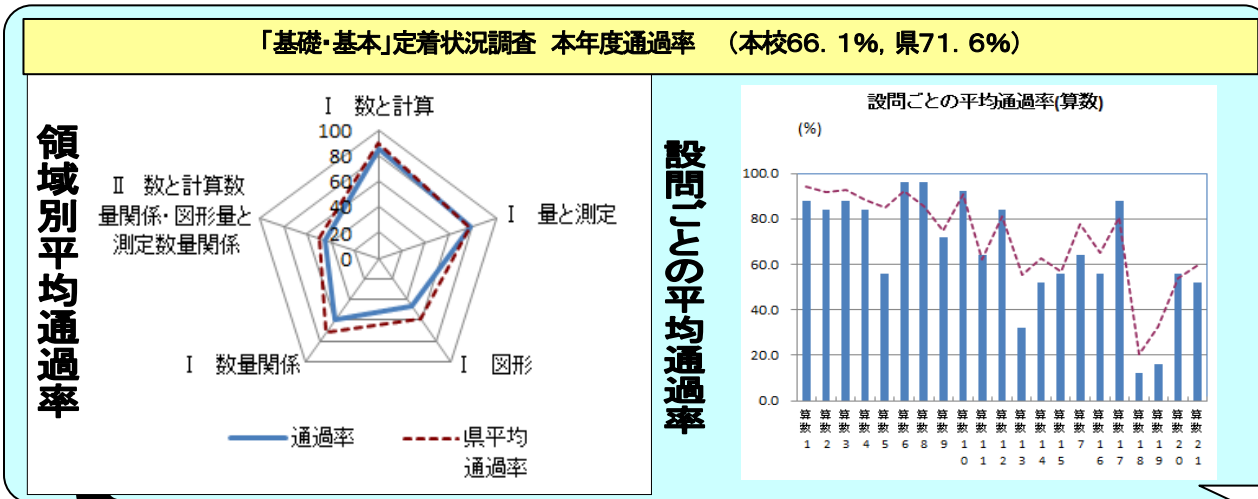
- ◎ 低学年での助詞の指導、「だれが (何が) どうする」といった指導を、板書を工夫 (視覚支援) して行う。またどの学年においても、作文・日記指導に重点をおき、授業だけでなく家庭学習も含め日々の指導で定着を図る。
- ◇ 筆者が表現を工夫するために、どのように文章を引用し効果的に活用しているかとらえることができるようにするため、発問、ワークシートやノートの指導、板書を工夫する。また、実際に他文章を引用して文章を書かせる学習にも取り組み、表現の工夫の仕方も理解させる。
- ※ 小中一貫した取組については、家庭学習に生かせる板書、ノート指導・理解を深めさせていくような視覚支援に取り組む。国語科では内容の読み取りに終始せず、書かれ方・表現の仕方等にも着目させていく。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 国語テスト (書く)			4年生 国語テスト (書く)		4年生 単元末テスト
目標値		70%			70%		80%
実施後数値		78%			75%		89%

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		6年生 国語テスト (書く)			5年生 国語テスト (書く)		5年生 H27「全国学力」
目標値		70%			80%		70%
実施後数値		80%			87%		80%

来年度に向けて

引用して書くこと、主語・述語の関係を捉えさせる経験を積ませたことで、定着してきた。しかし、書かれていること、提示されていること、条件をもとに文章に書いて表すことに課題がある。今後は「効果的に書く」ことを授業に継続して取り入れていく。



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 折れ線グラフと棒グラフから特徴や傾向を読み取ること、それぞれのグラフにどのような特徴があるのか理解することに課題がある。
(通過率12.0%)
- ◎ 与えられた条件に合う時刻を、筋道を立てて考え表すことに課題がある。
(通過率16.0%)
- ◇ 問題文を読み、示された情報から基準量を求める場面であることを捉えきれず、比較量と割合から基準量を求めることができなかった。
また、百分率についての理解にも課題がある。
(通過率0.0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎ グラフをただ読みとらせるだけでなく、どのグラフを使うのが効果的なのか、このグラフが表している傾向は何であるのかなど、グラフの読み取り方を深めさせる。
- ◎ 問題文で問われていることを順序立てて考えていけるように、重要な部分には、アンダーラインをひかせて考えさせるなど意識させる。
- ◇ 割合やもとなる数の学習を再度行い、図などで示しながら何をもとめればよいのか、数量関係を考えさせながら理解を深める。百分率や歩合についても繰り返し指導を行う。

※ 小中一貫した取組については、家庭学習に生かせる板書、ノート指導に取り組む。算数科では自分の考えを表現できるような授業展開改善を行う。また、物差しや分度器等を正しく使用して図をかくことを指導し、量感覚を養う。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 算数テスト(図形領域)			4年生 算数テスト(図形領域)		4年生 単元末テスト
目標値		70%			70%		80%
実施後数値		76%			78%		84%

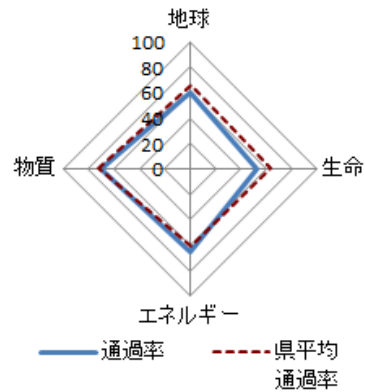
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		6年生 算数テスト(図形領域)			5年生 算数テスト(割合)		5年生 H27「全国学力」
目標値		80%			80%		80%
実施後数値		82%			88%		80%

来年度に向けて

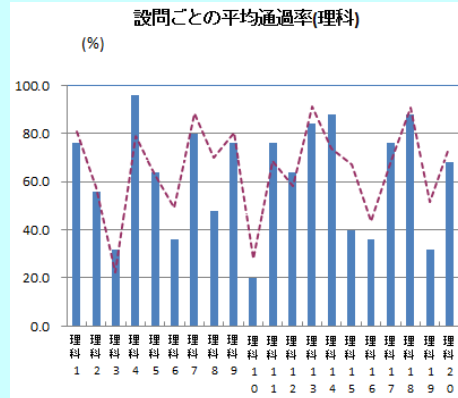
グラフや図形を多面的に見る力や基準量を捉える力が定着してきた。5年生の「割合」「単位量当たりの量」の問題の正答率は90%であった。
しかし、問題文から重要なことを捉える力の定着は不十分である。今後も継続して指導していく。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校61.8%, 県65.3%)

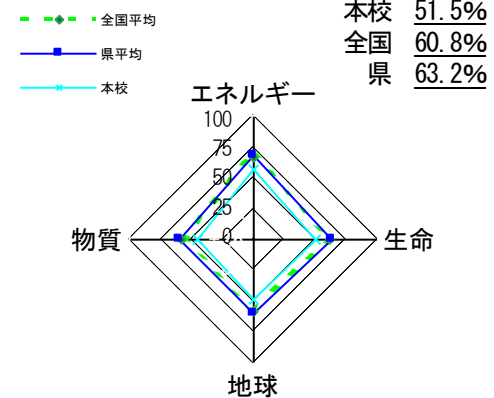
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 昆虫の具体的な昆虫の体のつくりについて、その特徴を根拠として理解することに課題がある。
(通過率20.0%)
- ◇ 実験結果を示したグラフを分析・考察し、それをもとに問われていることを記述で答えることに課題がある。
ものの溶け方の規則性についての考えをもつことに課題がある。
(通過率16.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎ 観察することにも重点をおき、実際に生き物に触れさせるなどして、実感を伴った理解となるようにしていく。
- ◇ 算数科との学習と関連させ、グラフの読み取り方を再度確認する。また、実験を行う際には、考察を書く時間を確保し、実験結果からわかったこと等を記述させる。
- ※ 小中一貫した取組については、家庭学習に生かせる板書、ノート指導に取り組む。理科では、課題を明確にして観察・実験を行うと共に、結果について話し合ったことを文章で書きまとめるなど、言語活動の充実を図る。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 理科テスト			4年生 理科テスト		4年生 単元末テスト
目標値		80%			80%		80%
実施後数値		85%			85%		84%

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		6年生 理科テスト			5年生 理科テスト		5年生 H27「全国学力」
目標値		80%			80%		75%
実施後数値		85%			83%		75%

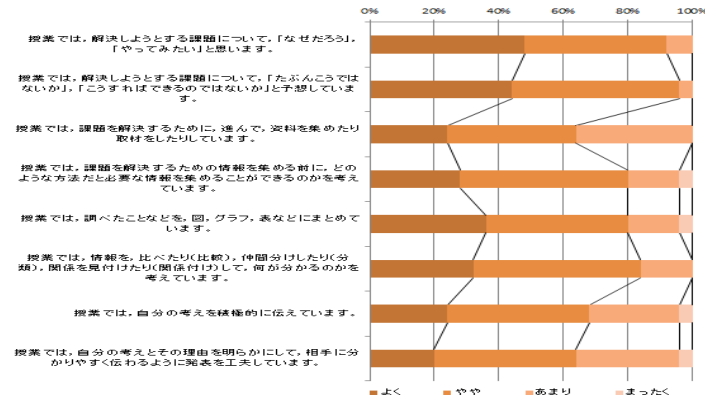
来年度に向けて

児童自身が表やグラフなどに整理分析し、実験結果から考察できるような学習活動を設定し、算数科のグラフの読み方やかき方の学習などと関連させながら説明活動を取り入れることによって、記述する力が定着してきた。今後も継続していきたい。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

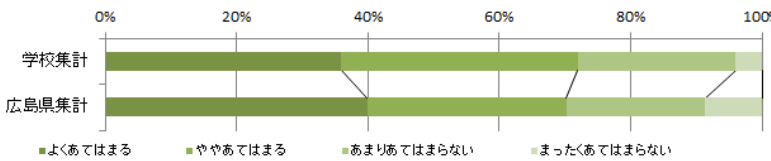
「課題発見・解決学習」(1)



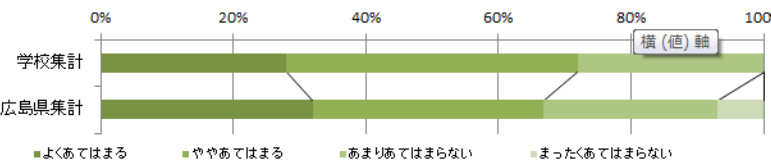
	児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	授業で自分の考えとその理由を明らかにして、相手にわかりやすく伝える発表をすることができにくい。(64.0%)	ペアトークやグループトークを積極的に活用し、小グループから全体でわかりやすく発表できるように取り組ませていく。	5	あてはまる80%	行動観察 アンケート	H28年3月	64%	±0
全国	家庭学習において、授業の予習が定着していない。(48.4%)	自主学習の進め方を確認し、予習の行い方を示し取り組んでいく。また、予習ノートの紹介をし、意欲的に取り組ませる。	6	あてはまる60%	行動観察 アンケート	H28年3月	52%	+4

(2) 教科

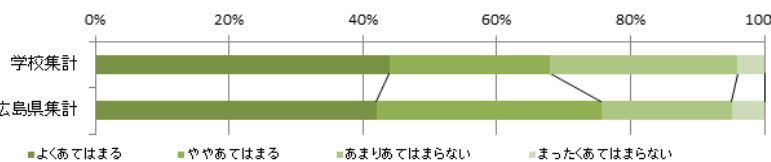
国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てています。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本	国語の授業では、分からない言葉や漢字を辞書を使って調べることができにくい。(76.0%)	5	あてはまる85%	行動観察	H28年3月	96%	+20
	全国	「国語の授業で、意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか」の問いに「あてはまる」と答えた児童が、19.4%と少ない。	6	あてはまる35%	ノートなどの記録 行動観察	H28年3月	35%	+16
算数	基礎・基本	自分の考えや解き方を話し合うときに、根拠をもとに話すことができにくい。(72.0%)	5	あてはまる80%	行動観察 ノート等の記述	H28年3月	76%	+4
	全国	「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」の問いに否定的に回答した児童が32.3%と多い。	6	(あまり・まったく)あてはまらない10%	行動観察	H28年3月	25%	-7
理科	基礎・基本	実験や観察を行う際、考えや予想をもとに計画を立てることができにくい。(68.0%)	5	あてはまる75%	行動観察 ノート等の記録	H28年3月	96%	+28
	全国	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりすることができにくい。(61.3%)	6	あてはまる70%	行動観察 ノート等の記録	H28年3月	51%	-10